



岡 津



平成30年度のキーワード
「つなぐ^{×3} そして、もっとその先へ・・・」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>

学校だより 3月号
平成31年2月28日
横浜市立岡津小学校
校長 小竹 護
TEL 811-4104
FAX 812-4586
(岡津小HPのQRコード掲載)

よう ほ しょう れん けい 幼保小連携

学校長 小竹 護

ほんこう おかづ ようちえん へいせい ねんど ねんかん よこはまし こ
本校と岡津幼稚園は、平成28年度から3年間、横浜市子ど
せいしょうねんきょく ようほしょうれんけいすいしんちく けんきゅう すす
も青少年局「幼保小連携推進地区」として研究を進めてきまし
た。岡津幼稚園とは、もともと行事等での交流が盛んでした
おかづ ようちえん ぎょうじ など こうりゅう さか
が、今回の推進地区の指定を受け、あらた けんきゅう しんか ほか
が、今回の推進地区の指定を受け、改めて研究の深化を図り



5年生と年長児による稲刈り(岡津幼稚園)

けんきゅう せい か ねんせい ねんちようじ こてい かつどう あいて いしき かつどう
ました。研究の成果として、1年生と年長児のペアを固定して活動したことにより、相手を意識して活動でき
ねんちようじ にゆうがくご みとお ようしょうこうりゅう たいけん こ
ました。年長児は入学後の見通しをもつことができるようになったとともに、幼小交流を体験した子どもたち
けいけん かか かつ かた かんが やさ たいど せつ おも
が、経験をもとに関わり方を考え、優しい態度で接することができるようになったと思います。

いま ねんせい ねんちようじ く あ こうりゅう おお ねんせい こうりゅう ふ
さて、今までは、1年生と年長児の組み合わせの交流が多かったのですが、5年生との交流を増やしま
こうりゅうないよう ねんしゃかい か そうごう がくしゅう たう いねか だっこく のうぎょう しごと いちぶ たいけん
した。交流内容は、5年社会科や総合で学習する、田植えや稲刈り、脱穀など農業の仕事の一部を体験
ふく ねんせい ねんちようじ こうりゅうかつどう い こ にゆうがく きたいかん
することも含んでいます。5年生と年長児との交流活動を入れたことにより、子どもたちの入学への期待感
にゆうがくご ねん かつどう いしき たか じき かお かんけい
や入学後の1・6年のなかよし活動への意識が高まりました。この時期から顔の見える関係をつくることで、
こうりゅう おも
スムーズに交流できるきっかけができたと思います。

しよくいんかん いしき たか ようちえん かつどう しょうがっこう がくしゅう れんぞくせい そうほう あそ
また、職員間の意識も高まり、幼稚園での活動と小学校の学習の連続性をとらえ、双方がそれぞれの遊
まな いぎ りかい しどう しえん きそ
びや学びの意義や「つながり」を理解して指導・支援できる基礎ができあがってきました。アプローチカリキ
ようちえんがわ しょうがっこうがわ せいび にゆうがくご がっこうせいかつ おく
ュラム(幼稚園側)とスタートカリキュラム(小学校側)を整備し、入学後にスムーズな学校生活を送れるよう
くふう かき かんが
に工夫を重ねていきたいと考えています。

これから、「つなぐ」を意識し、学校・家庭・地域の連携、協力をさらに深め、子どもたちに
あんしん じゅうじつ がっこうせいかつ おく きょうしよくいんいちどうぜんりよく と く
とって安心して充実した学校生活を送れるように教職員一同全力で取り組んでいきます。
いっそう りかい しえん ねが
一層のご理解とご支援をお願いいたします。

(幼保小連携・岡津地区の研究成果は本校ホームページ及び職員室廊下に掲示してあります。)